◆◆◆ The Yokohama Rubber Co., Ltd. ◆◆◆

横浜ゴム株式会社 経営企画部 広報室

〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号

TEL : (0463)63-0414

FAX : (0463)63-0552

URL : https://www.y-yokohama.com/

VEGETABLE OIL INK

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C016129

2023.07

YOKOHAMA

横浜ゴム株式会社　会社案内

CORPORATE PHILOSOPHY

1917年創立

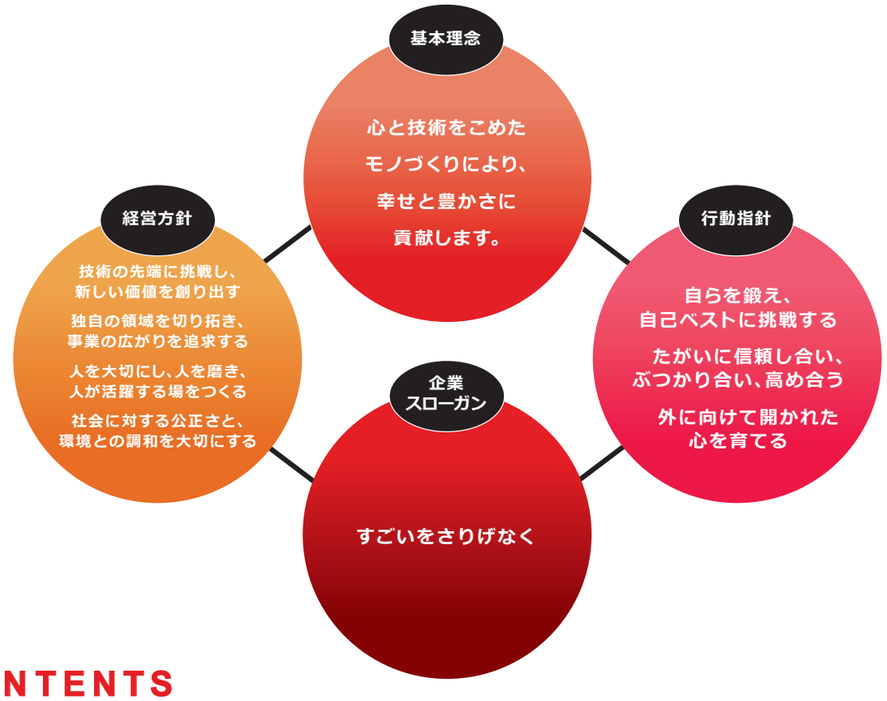
横浜ゴムは、日本の近代化に不可欠なゴム製品の国産を目的に、「高級ゴム製品の製造を通じての社会貢献」を掲げ、1917年に横浜の地で創立しました。以来100年の年月を超えて、関東大震災、第二次世界大戦、40年不況、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなど、いかなる試練に直面しようと、つねに挑戦者であり先駆者であり続けることで苦境を乗り越え、世界中で生産・販売を行うグローバル企業に成長してまいりました。横浜ゴムの基本理念は「心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献する」こと。これからも情熱と挑戦をエネルギーに時代と共に走り続けます。

代表取締役社長　山石 昌孝

ごあいさつ

横浜ゴムは創立以来、タイヤをはじめ、工業用品、スポーツ用品など、数々の製品を世に送り出してきました。その一つひとつがお客様の豊かさにつながるものとなるよう、生産、販売、技術のすべてに最善をつくしています。昨今の環境変化は非常に早く、当社を取り巻く経営環境も日々変わりつつあります。こうした先行き不透明な時代を生き抜くため、横浜ゴムは中期経営計画YokohamaTransformation2023（YX2023）における各事業の成長戦略を通じて、当社が強みとして持っている既存事業の「深化」と100年に1度の大変革期である市場変化の取り込み、「探索」を同時に推進します。「安全」と「環境」に最大限配慮しながら、安定した企業経営、事業成長をしていくことが、人の、社会の、世界の幸せと豊かさへの貢献につながると考えています。時代に先駆ける技術に一人ひとりの心をこめて、横浜ゴムは、世界中のお客様から信頼され必要とされる企業を目指してまいります。

横浜ゴムの企業理念は**「基本理念」「経営方針」「行動指針」「企業スローガン」**からなり、
「基本理念」は将来に向けて、横浜ゴムが一貫してこだわり続ける目指すべき姿、
「経営方針」は経営陣が自らに約束する経営の基本姿勢、
「行動指針」は従業員一人一人が自らに課す行動規範です。



CONTENTS

- Corporate philosophy 01
- 事業の紹介 03
  - タイヤ 03
  - MB 05
  - スポーツ 06
- 研究開発 07
- CSR 11
- 中期経営計画「YX2023」 13
- 生産 15
- 販売 17

コーポレートサイト「サステナビリティ」
ESG・CSRに関する取り組みはコーポレートサイトの「サステナビリティ」ページをご覧ください。

コーポレートサイト「株主の皆さまへ」
財務情報・株式に関する情報はコーポレートサイトの「株主・投資家の皆様へ」をご覧ください。

事|業|紹|介

TIRES

〈 タイヤ 〉

カーライフを彩る乗用車用タイヤから、人々の生活や物流を支えるトラック・バス用タイヤ、
資源開発や建設現場で活躍する建設車両用タイヤや、産業車両用タイヤ、農業・林業機械用タイヤまで。
横浜ゴムが開発・生産・販売するさまざまなタイヤは、社会のあらゆる場面で、高い品質でユーザーの信頼を獲得しています。

Passenger Car Tire 乗用車用タイヤ

乗用車用タイヤには、ドライバーの嗜好によってさまざまなニーズがあります。スポーツカー、ラグジュアリーセダン、SUV、ドレスアップ、そしてスタッドレスと、あらゆるドライブシーンに合わせたラインアップが、多様化するドライバーの幅広い要求を満たします。あらゆるドライビングニーズに対応する乗用車用タイヤはYOKOHAMAの技術の結晶です。

ADVAN

横浜ゴムのグローバル・コンセプトを象徴するフラッグシップ・ブランド「ADVAN(アドバン)」。ウルトラハイパフォーマンスタイヤ「ADVAN Sport」、ハイレベルな静粛性を備えたプレミアムコンフォートタイプの「ADVAN dB」、走りを追求したストリートスポーツタイヤの「ADVAN NEOVA」、競技用スポーツタイヤなど充実したラインアップを揃え、積極的に世界中に展開しています。

BluEarth

「BluEarth(ブルーアース)」は横浜ゴムのグローバル低燃費タイヤブランド。「環境性能のさらなる向上＋人に、社会にやさしい」をテーマにタイヤをさらに進化させていきます。環境貢献とともに、人が運転する時に感じるストレスや車外通過騒音などを低減することで、「人と社会へのやさしさ」を実現していきます。独自の配合技術で、低燃費、ウェット、耐摩耗の３つの性能を高める「ナノブレンドゴム」の開発。そして「エアロダイナミクス」や「生体反応評価技術」の研究など、「BluEarth」は今後も数多くの新技術に取り組んでいきます。豊富なラインアップで、より多くの方々が利用でき、CO_2排出量削減に大きく貢献しています。

iceGUARD

氷上性能に最も注力した冬用タイヤ「iceGUARD(アイスガード)」。スタッドタイヤ(北欧向け)、スタッドレスタイヤを揃え、コンパクトカーからSUV車両までをカバーする豊富な商品、タイヤサイズを保有。横浜ゴム独自のコンパウンド、パターン技術によって、冬季路面におけるお客様の安全に貢献いたします。

GEOLANDAR

「地球上のあらゆる道や大地を自在に走る」をコンセプトとした、SUV用タイヤブランド「GEOLANDAR(ジオランダー)」。ロングツーリングでの優れたコンフォート性を実現したタイプから、オフロード性能、耐摩耗性能を高めたタイプ、さらに省燃費性能などの環境性能に優れたタイプまで、さまざまな目的に適したタイプを揃えています。

Light Truck Tires 小型トラック用タイヤ

小型トラック用タイヤには市街地での配送・運送業務に適したフットワークが求められます。横浜ゴムの小型トラック用タイヤはウェット性能、耐久性・耐摩耗性を兼ね備え、経済性に優れ、また環境にも配慮し人々の生活を支えています。

Truck & Bus Tires トラック・バス用タイヤ

経済性・耐久性・安全性などの基本性能はもとより、環境対応、輸送効率向上を強く求められているトラック・バス用タイヤ。横浜ゴムは、これらの要求に応える環境に貢献するトラック・バス用タイヤを世界中に供給しています。「環境性能のさらなる向上＋人に、社会にやさしい」をテーマに独自の新技術開発に取り組んでいます。より多くのシリカを効果的に配合した原材料と最新の混合技術を適用させることで大幅な低燃費性能向上と耐摩耗性能を両立させる新コンパウンドの開発、独自技術「SpiraLoop®(スパイラループ)」によってベルト構造を強化することで幅広タイヤの課題となる形状保持を実現させるなど、物流新時代をひらくさまざまな技術・素材開発を行っています。

BluEarth フリル

GOOD DESIGN AWARD 2022

Off-Highway Tires 建設・産業車両用、農業・林業機械用タイヤ

横浜ゴムは、農業機械用・建設車両用・産業車両用タイヤ専門工場を有し、耐久性や耐熱性に優れたタイヤを世界中の市場に送り出しています。農業用トラクターや超大型ダンプトラック、採鉱場や建設現場で土砂を運ぶホイールローダ、道路工事や除雪を行うグレーダなど、農場や建設現場などで使用される車両の足元を力強く支えています。2016年には、オフハイウェイタイヤ(OHT)の専門メーカーで欧米を中心に世界中で展開するAlliance Tire Group B.V.(ATG)を、2017年にはニューマチック型クッションタイヤのパイオニアとして高い信頼を得ており、国内を中心に展開する愛知タイヤ工業㈱(愛知タイヤ)を当グループに迎えました。
さらに、2023年5月には農業機械用・建設車両用・産業車両用の各品種において幅広い商品ラインアップを有し、欧州で高いシェアを持つTrelleborg Wheel Systems Holding AB(TWS)が新たに当グループに加わりました。
YOKOHAMA、ALLIANCE、GALAXY、PRIMEX、AICHI、TRELLEBORG、MITAS他のマルチブランドによる市場展開、顧客要望への対応力を強みに事業拡大を進め、中期経営計画YX2023においてさらに成長を加速させていきます。

YOKOHAMA Off-Highway Tires　AICHI TIRE

事|業|紹|介

MB 〈 マルチプルビジネス 〉

資源、エネルギー、建築、輸送機器など産業の発展の礎として、横浜ゴムの技術が社会に貢献しています。
横浜ゴムはタイヤに加えて、ホース、コンベヤベルト、航空部品など、特徴ある商品を提供しており、
これらの事業をMB（マルチプルビジネス）と呼んでいます。

Hose and Couplings ホース配管

当社が高いシェアを占める建設機械等の油圧機器に装着される高圧ホースに加え、自動車のエアコンやトランスミッションオイルクーラーなどに使用されるホース配管は、その高い開発力と品質が評価され、国内外の自動車メーカーや部品メーカーへ納入を拡大しています。
更にゴム・樹脂ポリマーアロイ材を用いた自動車用次世代環境対応エアコンホースや燃料電池自動車用の水素ステーションで使用されるディスペンサーホースなど、次の時代に向けた商品開発にも力を入れています。

建設機械に装着されている高圧ホース

現在開発中の、ゴム・樹脂ポリマーアロイ材を用いた
自動車用次世代環境対応エアコンホース

水素ステーションで使用される
ディスペンサーホース「i-bar シリーズ」

Industrial Products

工業資材

石油輸送用のマリンホース「Seaflex」や空気式防舷材など、海洋商品は1950年代から長年にわたり培ってきた技術力が評価され、トップブランドとしての地位を確立しています。空気式防舷材では世界に先駆けて開発した浮遊式に加え、長周期波浪を受ける港湾や洋上ターミナルにおいて、圧倒的な船体動揺低減効果を発揮する岸壁用空気式防舷材や、2017年に新規開発した世界最大の空気式防舷材など、より安全な港湾及び洋上荷役に貢献しています。また、創業事業の一つであるコンベヤベルトでも、省電力コンベヤベルトや圧倒的な耐熱性能と耐久性を誇るベルトなど際立った製品をグローバルに展開しています。さらに市場ニーズに応えるため、2023年には難燃中温ベルトや高温耐熱ミドルグレード品を新発売し、ラインアップを拡充しました。

石油輸送用のマリンホース
「SEAFLEX」

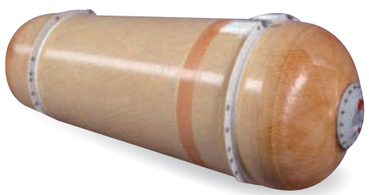
岸壁用空気式防舷材

世界最大となる直径６ｍの空気式防舷材

圧倒的な耐熱性能と耐久性を実現した
コンベヤベルト「HAMAHEAT SUPER100」

航空部品

長年培ってきた技術を基に、ゴム素材を使った燃料タンクや、軽量複合材を使ったウォータータンクやラバトリー モジュール（化粧室ユニット）、プリプレグなど、多様な商品を供給しています。


民間航空機に装着されているウォータータンク

事|業|紹|介

〈 スポーツ 〉 SPORTS

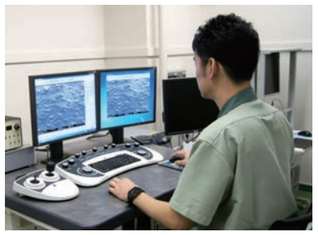
横浜ゴムのゴルフ用品ブランド、PRGR。1983年の誕生以来、
ゴルフを「クラブとボールの衝突の結果生まれる物理現象として捉える」という
独自のコンセプトを基に、進化し続けています。

Golf Products ゴルフ用品

1983年、PRGRはゴルフ界に初めてヘッドスピードという概念を打ち出しました。これを機に経験と勘に頼っていたクラブづくりに終止符が打たれ、素材、重量、長さ、大きさ、バランス、さまざまな点からクラブが科学されるようになりました。
PRGRの提唱したヘッドスピード理論は現代ゴルフの基礎、常識にもなっています。斬新な発想と独自の理論から生み出されるPRGR製品。
ゴルファーに感嘆と感動を届けるブランドとして、PRGRは国内外から常に注目を集めています。

横浜ゴムは、「研究開発」から
「生産」、「販売」に至るまで、
心と技術をこめたモノづくりにより、
幸せと豊かさに貢献しています。

横浜ゴムでは、様々な技術の可能性に挑戦してきました。
ゴム・コンパウンドなどのタイヤ関連材料は勿論、金属、軽量複合材、炭素繊維などの
幅広い新素材から、工業品、航空部品、スポーツ用品など様々なフィールドで、
研究開発から生産、販売までを行っています。
これらは世界中で多角的に評価され、次世代の技術躍進に貢献しています。



研究開発

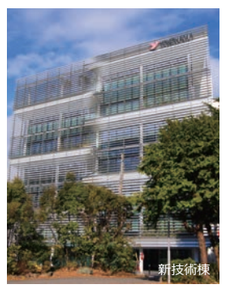
安全性を追求し、環境に配慮した商品を生み出すのは、研究開発に基づいた確かな技術です。
横浜ゴムでは、世界トップレベルの環境貢献企業をめざし、創意工夫、応用実践、複合化技術を開発テーマに、ゴム高分子技術をはじめとする、さまざまな技術を生み出してきました。それは材料開発に始まり、商品設計、試験・評価に至るまで多角的、総合的な開発をめざすものです。
例えばタイヤの研究開発。研究は平塚製造所内にある研究開発センター「RADIC（ラディック）」の他、米国の「Yokohama Development Center America」や中国の「Yokohama China Technical Center」などで進められ、さまざまな用途に合わせたゴムコンパウンドの配合や、タイヤ構造・トレッドパターンの設計を行い、試作タイヤを作ります。でき上がったタイヤは国内の「D-PARC（ディー・パーク）」、「北海道タイヤテストセンター」、タイの「Tire Test Center of Asia」、スウェーデンの「Yokohama Test Center of Sweden」などの各テストコースにおいて、日々さまざまな路面状況に応じた走行試験や多角的なテストが行われ、そこで得たデータが次世代のタイヤ開発に活かされていきます。タイヤ以外の分野においても、斬新な発想を持って開発を進めています。最先端の設備と技術により、既成概念にとらわれず新しい素材開発や商品設計を行い、日本初、世界初の技術を生み出していきます。

Yokohama Development Center America

Yokohama China Technical Center

RADIC ▶研究開発センター

平塚製造所内の研究開発センター「RADIC（ラディック）」は、最先端の技術拠点として1991年にオープンし、以来横浜ゴムにおける研究開発の中枢を担う基地となりました。ここでは、スーパーコンピューターや電子顕微鏡、材料表面分析装置、核磁気共鳴分析装置などを駆使して、材料開発や商品設計、さらにあらゆる条件を想定したシミュレーションが繰り返し行われています。
その他にも、新たに生み出される商品の元となる新素材の物性評価や、タイヤの諸特性（静・動特性）をテストするための最新鋭評価機器による研究開発が行われています。


新技術棟

名　称：RADIC（Research and Development Integrated Center）
所 在 地：神奈川県平塚市追分２番1号 横浜ゴム平塚製造所内

モータースポーツ

レース、ラリーなどの幅広いモータースポーツに参戦するYOKOHAMA。各カテゴリーで華々しい戦績を残すと同時に、国内外のチームにコンペティションタイヤの供給を行い、優れた成果を上げています。
モータースポーツ活動は、タイヤ開発への貢献という重大な役割を担っています。マシンに装着されるタイヤの最先端の高分子技術および設計技術が、市販タイヤの開発にも活かされています。
モータースポーツフィールドで培った技術を商品のテイストアップにフィードバックし、高性能タイヤの開発に活かしています。最新の技術がぶつかり合うモータースポーツは、未来のタイヤが誕生する壮大な実験の場でもあるのです。

テストコース

D-PARC ▶総合タイヤテストコース

茨城県大子町にある「D-PARC(ディー・パーク)」は、横浜ゴムの総合タイヤテストコースです。現在ここでは、高速楕円周回路をはじめ、円旋回路、さまざまな路面を集めた特殊試験路、山岳のワインディングロードを想定したハンドリング路など、さまざまな路面状況を想定し、多角的なテストを繰り広げています。
ここで収集された騒音評価や乗心地評価などの豊富なデータは、リアルタイムで神奈川県平塚市にある研究開発部門に送信され、タイヤの設計、開発部門へフィードバックされ、次世代のタイヤ開発に活かされています。

名　称：D-PARC（Daigo Proving-ground and Research Center）
所 在 地：茨城県久慈郡大子町下金沢 695番地

Tire Test Center of Asia ▶総合タイヤテストコース

タイにある「Tire Test Center of Asia」は世界の一般道路を再現した外周路を活用し、乗用車用、トラック・バス用タイヤにおける性能評価の強化と品質向上や、高速走行試験の充実を図るために作られた大型総合タイヤテストコースです。さまざまな路面状況を想定した特殊試験路やウェット試験路により、操縦安定性、燃費、耐久性、騒音、振動、乗り心地に至るまで、多角的な試験が繰り広げられています。タイヤ生産販売会社「ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイ」が近隣にあるため、生産・開発部門との連携が取りやすく、走行・評価テストの結果を新しいタイヤ開発に役立てています。

名　称：Tire Test Center of Asia
所 在 地：135 Moo 2, Tambol Tasit, Amphur Pluakdaeng,Rayong Province 21140, THAILAND

北海道タイヤテストセンター ▶冬季タイヤテストコース

北海道旭川市にある「北海道タイヤテストセンター」は、スタッドレスタイヤをはじめとするウィンタータイヤの実車テストコースです。従来のウィンタータイヤテストコースの約4倍を誇る広大な敷地内には、直線が約1キロにおよぶ圧雪ハンドリング路のほか、登坂路、雪上／氷上旋回路、屋内／屋外氷盤路を備えています。氷点下の気温が安定的に続く12月末から翌年2月までの厳冬期には実車テストに最適な条件が整っています。

名　称：北海道タイヤテストセンター（Tire Test Center of Hokkaido）
所 在 地：北海道旭川市神居町上雨紛 500

Yokohama Test Center of Sweden ▶冬季タイヤテストコース

スウェーデンにある「Yokohama Test Center of Sweden」は、スウェーデンのArctic Fallsと長期貸与契約を結んだウィンタータイヤの実車テストコースです。敷地内には、さまざまなテストコースがそれぞれ独立して配置されており、乗用車用タイヤの開発を行っています。氷点下の気温が安定的に続く11月頃から翌年4月頃までの長期にわたってウィンタータイヤの実車テストが可能です。

名　称：Yokohama Test Center of Sweden
所 在 地：c/o Arctic Falls AB, 942 91 Visttrask, SWEDEN

未来への思いやり　～ 横浜ゴムグループのサステナビリティへの取り組み ～

横浜ゴムグループは、CSRスローガン「未来への思いやり」の下、
5つの重要課題に取り組み、
事業活動を通してあらゆるステークホルダーの皆さまとともに
地球に生きる幸せと豊かさに貢献します。

製品を通して
安心と楽しさをいつまでも届けます

環境貢献をタイヤの付加価値に

製品製造時のCO_2排出ゼロの新車装着タイヤや、サステナブル素材（再生可能原料やリサイクル原料）の使用比率を高めたモータースポーツ向けタイヤの製造・販売を通じて、高性能・高品質のタイヤに「環境貢献」という新たな価値を加え、タイヤの付加価値の向上に努めています。

サステナブル素材の使用比率を高めたモータースポーツ向けタイヤ

サステナブル素材の使用比率を高めたタイヤを装着した車両

タイヤセンサー技術によりさらに「快適な」タイヤへ

自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えており、「CASE」※1、「DX」※2をキーワードに、自動車の「自動化」、「電動化」に対応したタイヤのデジタル化による情報サービスの強化が求められています。横浜ゴムは、中長期的な技術開発ビジョン「YOKOHAMA SensorTire Technology Vision」に基づき、空気圧に加えてタイヤの摩耗や路面状態を検知するセンシング機能を搭載したSensorTire（IoTタイヤ）を開発し、IoTタイヤから得られた情報を利用されるお客様（ドライバーや同乗者、様々な事業者）にシームレスに提供することで新たなモビリティ需要の多様な変化に対応しつつ、安心・安全な運行に持続的に貢献することを目指しています。

※1 CASE（ケース）：Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、
Shared & Services（カーシェアリングとサービス）、Electric（電動化）の頭文字をとった造語
※2 DX：Digital Transformation（進化したIT技術の浸透）

タイヤ内面貼り付け型センサーのイメージ
（アルプスアルパインと共同開発中）

地球環境のために
豊かな自然を次世代へ伝えます

環境中期目標

横浜ゴムは、2022年2月に「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」、「自然との共生」の3つからなる環境中期目標を公表しました。

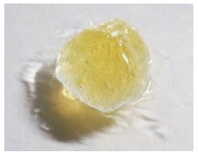
カーボンニュートラルの取り組み

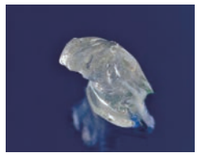
2030年に自社活動におけるCO_2排出量を38%削減、2050年には排出量ネットゼロを目指します。生産拠点においては、新城南工場をモデル工場として2030年までにカーボンニュートラル化し、そのノウハウを国内外の工場に展開、2050年までに全工場のカーボンニュートラル化に取り組みます。製造拠点以外についても、全社での活動として、設備・機器・輸送のプロセスの改善、見直しを進める「年1%自社改善活動」を継続して行い、カーボンニュートラルの実現を目指します。

モデル工場となる新城南工場

サーキュラーエコノミーの取り組み

原材料のサステナブル素材化に取り組み、独自の探索・開発の他、パートナーとの協働・技術開発を通じて2030年に再生可能原料、リサイクル原料の使用率を30%以上、2050年にサステナブル原料の使用率を100%とすることを目指します。具体的には、エタノールからの高効率ブタジエン合成や植物資源からのブタジエン、イソプレン製造の技術開発、モータースポーツを通じたサステナブル素材を使用したタイヤの技術開発などを通じて、製品性能とサーキュラーエコノミーの両立を目指します。


エタノールからブタジエン合成


植物資源からブタジエン製造

自然との共生の取り組み

2007年より国内14拠点、海外8カ国21拠点で展開している「YOKOHAMA千年の社」活動において、2030年までに累計130万本の植樹・苗木提供を目指します。活動を通じて、豊かな自然環境を守りつつ、CO_2の吸収固定、生物多様性保全の他、災害防止や地域教育にも貢献します。また、当社原料使用量の約20%を占める天然ゴムの調達について、「持続可能な天然ゴムの調達方針」を策定し、天然ゴム農家の支援活動を通じて違法な森林伐採や児童労働・強制労働根絶を啓発するなど、持続可能な資源にするための活動を推進します。

人とのつながり
共に高め合い笑顔を広げます

人権尊重の取り組み

横浜ゴムは、広く社会から信頼される企業として持続可能な社会の実現に貢献するため、事業活動の基本としてグループ全体で人権尊重の取り組みを実践することが重要であると認識しています。2022年4月には、国際連合の「ビジネスと人権に関する指導原則」※3に基づき、「横浜ゴムグループ人権方針」を策定し、当社の事業活動に関わるすべての人々の人権の尊重を目指して取り組みを進めています。

※3 ビジネスと人権に関する指導原則：すべての国家とすべての企業に適用される人権尊重の枠組みとして2011年に国際連合人権理事会において承認されました。
同指導原則では、「人権を保護する国家の義務」と並び、「人権を尊重する企業の責任」が重要な柱と位置付けられています。

ダイバーシティ&インクルージョン

従業員がより働きやすい環境を整備し、性別・国籍・年齢等に関係なく、その能力を十分に発揮できる会社になることを目指しています。具体的には、「ダイバーシティ&インクルージョン推進タスク」が中心となり、女性活躍や、育児・介護者の支援をはじめ、障がい者・LGBTQ+の受容・理解のためのセミナー開催や多様な人材が働きやすい職場環境づくりなどを推進しています。

人材育成・働き方改革

中期経営計画YX2023の達成に向け、社員一人一人が能力を発揮できるよう、適材適所を推進する人事制度改革を行いました。管理職においては、職務・業績と報酬の連動性を高めるジョブ型制度を導入する他、早期に付加価値人材となれるよう育成と選抜を行っております。また、働き方改革では、本社と平塚製造所の統合に合わせて在宅勤務やフレックスタイム勤務制度を拡充・整備し、配偶者の転勤先でテレワークにより勤務継続できる仕組みなど、更なるワークライフバランスの改善に向けた各種取り組みを進めています。

働き方改革の事例
- 在宅勤務やフレックスタイムの拡充
- 時間単位の有給休暇制度の導入
- ファミリーサポート向け休暇の導入
- 育児・介護相談窓口の設置
- 勤務間インターバルの設定

労働安全衛生

労働災害がなく、健康で長く働くことのできる快適な職場環境づくりを目指しています。労働災害対策では、潜在的な災害リスクを排除するための安全診断、リスクアセスメントを実施し、全社員に向けた安全教育にも取り組んでいます。また、健康で長く働くことのできる職場づくりとしては、健康保険組合と連携した「健康経営」に取り組み、社員の健康・体力向上を推進しています。

地域社会と共に
共に生き、ゆるぎない信頼を築きます

「YOKOHAMAまごころ基金」を通じて社会課題の解決に貢献、従業員の「まごころ」をかたちに

従業員によって2016年に設立された「YOKOHAMAまごころ基金」は、基金の趣旨に賛同する従業員から積立金を集め、社会課題に取り組んでいる団体への支援や、災害発生時の義援金などの寄付を実施しています。2023年5月現在、加入率は全従業員数の約43%となりました。

横浜ゴムまごころ基金
【2022年支援先の例】
支援実績合計：5,112千円（災害義援金含む）
- 認定NPO法人フローレンス
- かながわ筋電義手バンク
- NPO法人JapanHairDonation&Charity
- ウクライナへの人道支援
- 令和4年3月福島県沖地震　など

タイの天然ゴム農家とセミナーイベントを開催

2022年12月、タイ天然ゴム公社と共同で、タイのスラタニ地区の天然ゴム農家に対し、通算4回目となる天然ゴムの品質および生産性向上に向けたセミナーイベントを開催しました。当日はスラタニ地区の50戸の農家に参加いただき、タイ天然ゴム公社の知見を活かした肥料を1農家あたり250kg無償提供し、参加者から好評を得ました。横浜ゴムは、「持続可能な天然ゴムの調達方針」を定めており、今回のセミナーイベントは同方針に掲げた「サプライチェーンに関わる方々への支援」の一環として行われたものです。今後も同方針に基づく支援活動を継続的に実施していく予定です。

イベントに参加した天然ゴム農家の方々

コーポレートガバナンス
グローバル化する社会的課題に正しく対処するための基盤を強化します

「ゆるぎない信頼」を得る経営の実践

「企業理念」の下に健全で透明性と公平性のある経営を実現するコーポレートガバナンス体制を築き、さらにこの体制の充実と強化に努めています。これにより、企業価値の継続的な向上が図れる経営体質とし、全てのステークホルダーから「ゆるぎない信頼」を得られる経営を目指します。

監査等委員会設置会社への移行

当社は2023年3月、コーポレートガバナンスの強化の取り組みとして、取締役会の監督機能の強化と経営の意思決定の迅速化のため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。

グローバル経営の基盤づくり

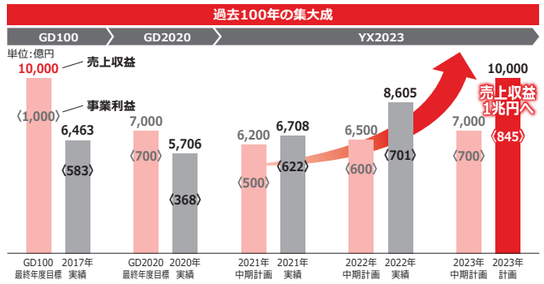
当社の取締役会は、社内取締役8名（外国籍取締役含む）、社外取締役8名の計16名で構成されており、機能強化と人材の多様化を図っています。また、監査等委員会の5名の監査等委員のうち3名を社外取締役とし、独立して公正な監査を行うことが可能な体制を確保しています。社外取締役を除く取締役・執行役員に対する年次賞与は、全社業績および個人業績の達成度に応じて変動する仕組みとし、譲渡制限付株式による報酬制度も導入しています。人事・報酬は、社内取締役1名、社外取締役2名からなる「役員人事・報酬委員会」にて審議の上、取締役会で決定しています。

中期経営計画「YX2023」

横浜ゴムグループは2023年までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」の下、次世代の成長に向けた「変革」に取り組んでいます。

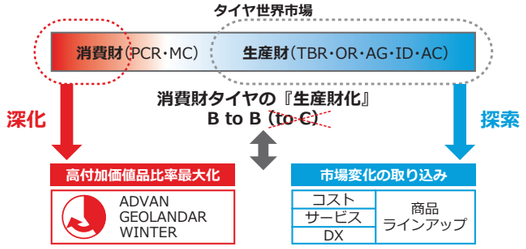
目指す姿：「深化」と「探索」を推進し、売上収益1兆円へ

自動車産業を取り巻く環境はCASE、MaaS、DXなど大変革時代を迎えています。こうした中「YX2023」では既存事業における強みの「深化」と大変革時代のニーズに応える新しい価値の「探索」を同時に推進し、次世代の成長に向けた「変革」を目指します。これにより、「YX2023」の最終年度である2023年度に過去最高の売上収益1兆円、事業利益845億円を達成し、過去100年の集大成とするとともにさらなる収益を伴った成長に向けて新たなステップを踏み出します。



考え方：「タイヤ消費財の生産財化が進行」

乗用車用などのタイヤ消費財とトラック・バス用、農業機械用などのタイヤ生産財の市場規模はほぼ同等と見込んでいます。今後はCASEやMaaSなどの普及により個人消費の車の減少と人や物の移動を支えるインフラ車両の増加により、タイヤ消費財が「生産財化」していくと予想しています。こうした考えの下、タイヤ消費財事業では「高付加価値商品の販売拡大」に向けた取り組みの「深化」を、タイヤ生産財事業では市場変化の取り込みを「探索」します。



タイヤ消費財：「高付加価値品の比率を最大化」

高付加価値商品の主力である「ADVAN」「GEOLANDAR」「ウィンタータイヤ」の販売比率の最大化を目指し、３つの取り組みを強化します。2023年度には2019年度比「ADVAN」で175%、「GEOLANDAR」で115%、「ウィンタータイヤ」で120%、18インチ以上サイズで169%の販売伸長を計画し、３ブランド合計の販売比率を40%から50%にします。

❶ ADVANとGEOLANDARの新車装着の拡大

ブランド力や技術力の証明となる世界的なプレミアムカーやEVへの新車装着に引き続き注力する。

❷ 補修市場でのリターン販売強化とウィンタータイヤを含む商品のサイズラインアップ拡充

開発体制の強化を推進し、新商品の市場投入と既存商品のサイズラインアップ拡充を加速化。さらに、モータースポーツ活動を技術開発およびブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたる競技に参戦する。

ウィンタータイヤの性能をテストする屋内氷盤試験場

ワンメイク供給している全日本スーパーフォーミュラ選手権

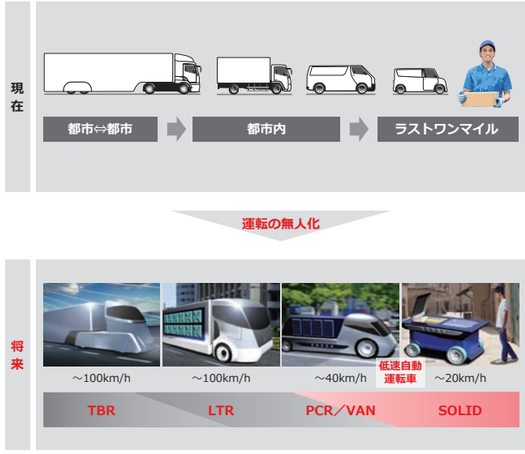
❸ 各地域の市場動向に沿った商品の販売を強化する「商品・地域事業戦略」

北米では「GEOLANDAR」、日本ではスタッドレスタイヤ、欧州では「ADVAN」とウィンタータイヤなど各市場動向に合った商品を拡販する。

タイヤ生産財：「市場変化を取り込み、事業をさらに強化」

〈タイヤ生産財の考え方について〉

運輸・物流業界では車両の電動化・無人運転に伴い、運行距離や使用状況に応じて多様な品種のタイヤが求められることが予想されます。例えば人の手に荷物がわたるラストワンマイルでの車両にはノーパンク、ソリッドタイヤが採用される可能性があります。この物流の変革に向けてトラック・バス用タイヤからソリッドタイヤまで当社の強みである幅広い商品ラインアップをさらに拡充し、市場での優位性を確立します



❶ コスト

インドの乗用車用タイヤ工場を「横浜ゴムグループで最も安くタイヤを作る工場」と位置づけ低コストモデルの確立を目指す。タイのトラック・バス用タイヤ工場も低コストモデルでの増産を検討する。

❷ サービス

タイヤ単体だけではなくサービスのセット提供を推進するため、全国の販売・物流ネットワークを活用してサービスカーの導入を拡大しサービス体制を強化する。

❸ DX

先進タイヤセンサー開発を加速化し、機能の追加で段階的にサービスや顧客を拡大することで新たな付加価値サービスを創出。この実現に向け異業種とのアライアンス体制を構築する。

❹ 商品ラインアップ

車両の電動化・無人運転に伴う物流の変革に向け、当社の強みである幅広い商品ラインアップをさらに拡充し市場での優位性を確立する。

〈OHT事業：「さらなる成長ドライバー」として強化〉

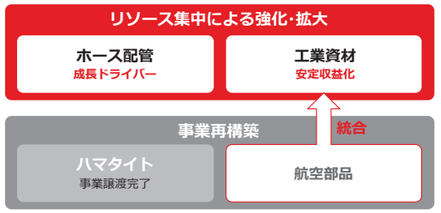
安定的に高い収益を確保できる農業機械用や建設車両用などのオフハイウェイタイヤ（OHT）事業を「さらなる成長ドライバー」と位置付け、事業拡大に取り組みます。当社のOHT生産販売子会社「Yokohama Off-Highway Tires」と2023年5月に買収したスウェーデンのOHT生産販売会社「Trelleborg Wheel Systems Holding AB」の強みを融合し、OHT市場におけるグローバルプレゼンスを高めていきます。

〈TBR事業：成長に向けた事業基盤の強化〉

米国ミシシッピ工場の安定供給の確保に努めるとともに三重工場を中心に増産投資を行い、旺盛な需要に応える生産体制を構築します。

MB事業：「成長性・安定性の高いポートフォリオへの変革」

強みであるホース配管事業と工業資材事業にリソースを集中し、安定収益を確保できる体制を構築。時代に見合った事業展開を目指します。



サステナビリティ経営

横浜ゴムはESGの取り組みを事業を強化する実際的な事業戦略の一つとして捉えており、取り組みを通じて持続的な企業価値向上に繋げていきます。

〈E：環境〉

❶ カーボンニュートラル

2050年にネットゼロの目標を掲げ、国内外での生産拠点で太陽光発電と再エネ電力の導入、水素などの脱炭素燃料への転換を進める。

❷ サーキュラーエコノミー

2050年の目標を「サステナブル原料100%」とし、サステナブル素材を使用したタイヤなどの開発を進める。

❸自然との共生（ネイチャーポジティブ）

植樹活動や持続可能な天然ゴム調達を通じて生物多様性保全活動を強化する。

Yokohama Tire Philippinesに設置した太陽光発電システム

サステナブルレーシングタイヤ

「YOKOHAMA千年の杜」植樹活動

〈S：社会（人とのつながり）〉

人権尊重、人材育成や人事改革を通じた人的資本の価値向上、働き方改革、労働安全衛生などに取り組みます。

〈G：ガバナンス〉

役員の多様性を確保するガバナンス・ダイバーシティを進めるほか、取締役会の監督機能の強化と意思決定の迅速化を目的とした監査等委員会設置会社への移行などガバナンスの強化を推進します。

生産

メーカーの使命は「良いモノを、安く、タイムリーに」提供することと考え、最高レベルの商品をお届けすべく、最先端の技術を導入した生産拠点において、徹底した品質管理のもと生産活動が行われています。また、従業員一人ひとりが品質改善をはじめとした活動に積極的に取り組んでいます。海外における生産拠点も増えており、米国や中国などでは現地で生産した製品を現地で販売するなど、地域に根付いた生産・販売活動を行っています。

国際品質規格である「ISO9001」の認証は全タイヤ生産拠点で取得しています。さらに、自動車産業向けの品質マネジメントシステムである国際品質規格の「ISO/TS16949」も国内外の生産拠点で取得するなど、高いレベルでの生産活動を維持しています。新たに設立する工場はもちろん、従来の工場においても環境に配慮した生産体制を整えています。国内の生産拠点では、クリーン燃料の高効率なコージェネレーションシステムを導入しており、大幅なCO_2削減を可能にしています。さらに国内の全生産拠点では、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成しており、今後は産業廃棄物の100%再資源化をめざしています。

海外生産販売会社

1 **Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC**
1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A

2 **Yokohama Tire Manufacturing Mississippi, LLC**
1 Yokohama Blvd, West Point, MS 39773, U.S.A.

3 **Yokohama Industries Americas Ohio Inc.**
474 Newell Street, Painesville, OH 44077, U.S.A.

4 **Yokohama Industries Americas Inc.**
105 Industry Drive, Versailles, KY 40383, U.S.A.

5 **Suzhou Yokohama Tire Co., Ltd.**
No.158, Huaqiao Road, Xuguan Industrial Park,
Suzhou National New & Hi -Tech Industrial
Development Zone, Suzhou, Jiangsu Province, 215151,
CHINA

6 **Hangzhou Yokohama Tire Co., Ltd.**
No.55. No.3 Street, Hangzhou Economic and Technical
Development Area, Hangzhou, Zhejiang 310018, CHINA

7 **Yokohama Tire Philippines, Inc.**
IE5, Clark Freeport Zone, Pampanga, PHILIPPINES 2023

8 **Yokohama Tire Manufacturing（Thailand）Co., Ltd.**
7/216 Moo. 6 Amata City Rayong Industrial Estate,
Tambol Mapyangporn, Amphur Pluakdang,
Rayong Province 21140, THAILAND

9 **Yokohama Tyre Vietnam Inc.**
No.17, Street 10, Vietnam Singapore Industrial Park,
Binh Hoa ward, Thuan An city, Binh Duong Province,
VIETNAM

10 **Shandong Yokohama Rubber Industrial Products Co., Ltd.**
Xinzhai Local Town, Linqu County, Weifang City,
Shandong Province, CHINA 262610

11 **Yokohama Industrial Products - Hangzhou Co., Ltd.**
No.89, Sanfeng Road, Qianjin Industrial Park Jiangdong
Level Block Hangzhou, CHINA 311227

12 **SC Kingflex Corporation**
No. 99, Xiyuan Road, Zhongli Dist.,
Taoyuan City 320, TAIWAN R.O.C.

13 **Yokohama Rubber（Thailand）Co., Ltd.**
Eastern Seaboard Industrial Estate,（Rayong）64
Moo 4 Tambol Pluakdaeng, Ampur Pluakdaeng
Rayong 21140, THAILAND

14 **LLC Yokohama R.P.Z.**
RF, 398010, Lipetsk region, Gryazy district, Gryazy town,
territory of SEZ PPT Lipetsk, building 47,
block 11, RUSSIA

15 **Yokohama India Pvt.Ltd.**
Plot No,1 Sector 4B, Bahadurgarh Industrial Estate,
HSIIDC Bahadurgarh, Dist - Jhajjar, Haryana 124507,
INDIA

16 **PT. Yokohama Industrial Products Manufacturing Indonesia**
Jl. Mas Surya Negara VIII No.6 Kawasan Industri
Terpadu Kabil Batam 29467, INDONESIA

17 **Alliance Tire Company Ltd. Head office, Hadera Plant**
P.O.Box 48, Hadera 38100, ISRAEL

18 **ATC Tires Private Ltd. Tirunelveli Plant**
Plot No. A2, SIPCOT Industrial Growth Centre,
Gangaikondan, Tirunelveli, 627 352, INDIA

19 **ATC Tires Private Ltd. Dahej Plant**
D-III, 23 & 23A Dahej Industrial Estate,
Village-Samantpore, Taluka-Vagra,
District Bharuch,Gujarat-392 140, INDIA

20 **ATC Tires AP Private Ltd. Visakhapatnam Plant**
Plot Nos 7, 8A, 8A2, 8B and 8C, APIIC Industrial Area,
Special Projects Zone, Atchutapuram, Visakhapatnam,
Andhra Pradesh, 531011, INDIA

21 **Yokohama Industries Americas de Mexico, S. de R.L. de C.V.**
Circuito Cerezos Oriente #101, San Francisco
de los Romo, Aguascalientes, C.P. 20355, MEXICO

22 **Yokohama TWS Brazil Industria e Comercio de Borrachas e Polimeros Ltda. Feira De Santana Plant**
Avenida Deputado Luis Eduardo Magalhães, S/N
Quadra J Blocos A e B no Bairro Limoeiro
Feira de Santana – Bahia CEP 44.097- 324, BRASIL

23 **Yokohama TWS (Hebei) Co. Ltd. Hebei Plant**
NO. 788 Zhongxing St. West Xingtai Heibei 054000,
CHINA

24 **Yokohama TWS (Xingtai) Co. Ltd. Xingtai Plant**
NO. 999 Jianshe St Xingtai Hebei 054000, CHINA

25 **Yokohama TWS Czech Republic a.s. Otrokovice Plant**
Třída Tomáše Bati 1740 765 01 Otrokovice,
CZECH REPUBLIC

26 **Yokohama TWS Czech Republic a.s. Prague Plant**
Švehlova 1900/3, Záběhlice, 106 00 Praha 10,
CZECH REPUBLIC

27 **Yokohama TWS Czech Republic a.s. Zlin Plant**
Vavrečkova 7248 762 02 Zlín, CZECH REPUBLIC

28 **Yokohama TWS S.p.A. Tivoli Plant**
Tivoli (RM) Via Nazionale Tiburtina 143
Postal Code 00019, ITALY

29 **Yokohama TWS Latvia LSEZ SIA Liepaja Plant**
Kapsēdes iela 2 Liepāja LV-3414, LATVIA

30 **Yokohama TWS Serbia d.o.o. Ruma Plant**
Industrijska bb 22 400 Ruma, SERBIA

31 **Yokohama TWS Slovenia, d.o.o. Kranj Plant**
Škofjeloška cesta 6 4000 Kranj, SLOVENIA

32 **Yokohama TWS LK (Pvt.) Ltd. Malwana Plant**
45, B E P Z Biyagama Walgama Malwana
Postal Code 11670, SRI LANKA

33 **Yokohama TWS Tyres Lanka (Pvt.) Ltd. Yokohama TWS Lanka (Pvt.) Ltd. Sapugaskanda Plant**
Levin Drive Sapugaskanda Makola
Postal Code 11640, SRI LANKA

34 **Yokohama TWS North America, Inc. Charles City Plant**
1200 Rove Avenue Charles City IA 50616, U.S.A.

35 **Yokohama TWS North America, Inc. Spartanburg Plant**
790 Reeves Street Spartanburg SC 29301, U.S.A.

天然ゴム加工工場

1 **Y.T. Rubber Co., Ltd.**
51/2 Moo.1 Tambon Tha Sa Thorn,Amphur Phunphin
Suratthani 84130,THAILAND

国内生産拠点

平塚製造所
〒254-8601 神奈川県平塚市追分2-1

三重工場
〒516-8530 三重県伊勢市御園町高向1038

三島工場
〒411-0832 静岡県三島市南二日町8-1

新城工場
〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷１

新城南工場
〒441-1338 愛知県新城市一鍬田字大入10-24

茨城工場
〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西１

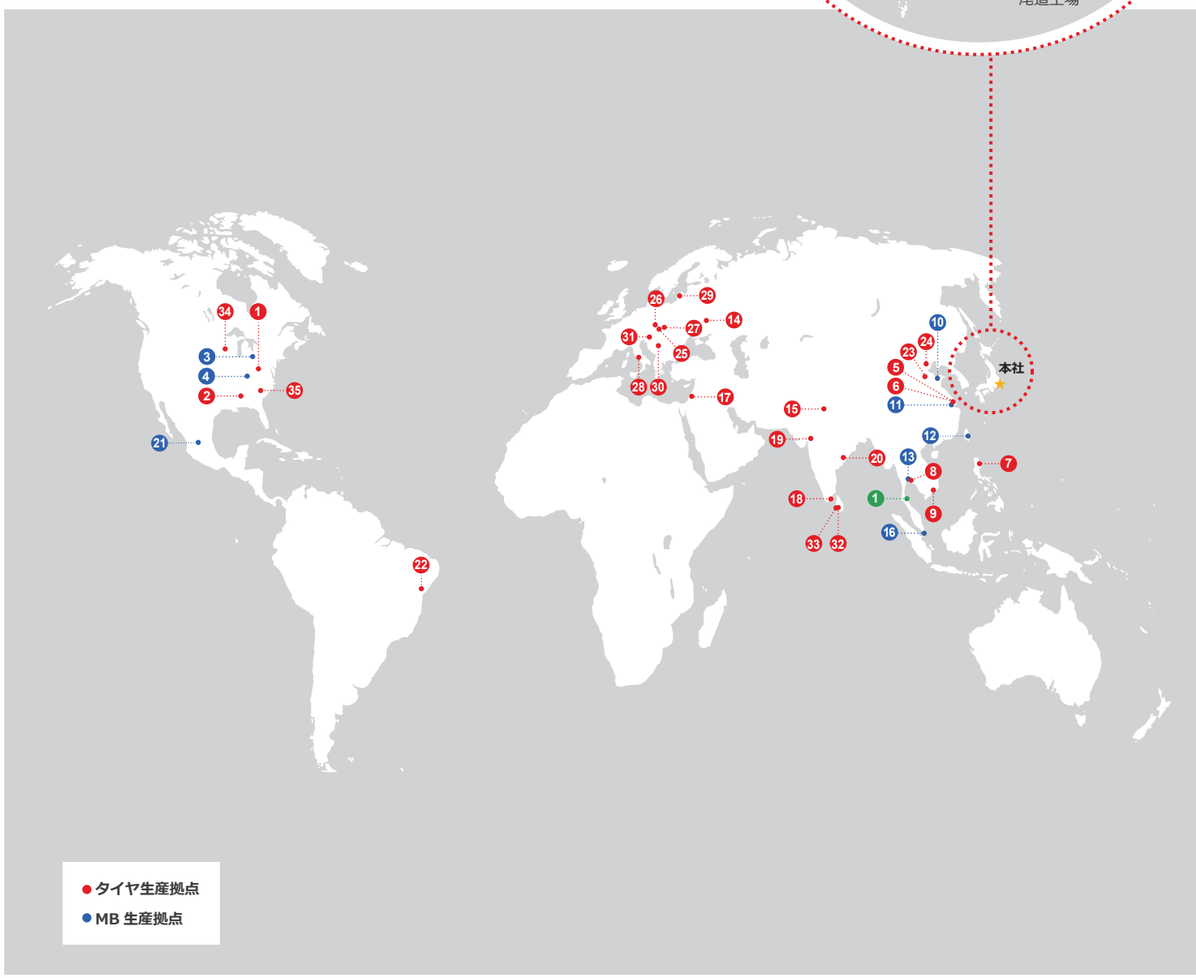
尾道工場
〒722-0051 広島県尾道市東尾道20

長野工場
〒399-3201 長野県下伊那郡豊丘村河野9100

ヨコハマタイヤリトレッド株式会社
〒722-0221 広島県尾道市長者原２-165-28

亀山ビード株式会社
〒519-0168 三重県亀山市太岡寺町820-6

愛知タイヤ工業株式会社
〒485-0802 愛知県小牧市大字大草字年上坂5827番地１



販売

個人消費者を対象とする乗用車用タイヤやゴルフ用品の販売においては、店頭やイベント会場でのお客様とのふれあいが大きな意味を持ちます。
横浜ゴムは、店頭ではもちろんのこと、各種モーターショーなどにも積極的に参加し、単体および車両に装備したタイヤやホイールをじっくりご覧になっていただくとともに、お客様との密接なコミュニケーションを図っています。ゴルフ用品についても、国内の販売店で行われる試打会や試打クラブのレンタル、フィッティングスタッフによるお客様に合った商品選びのお手伝いなどを行っています。こうした“ふれあいの場”で得られた生の声は即座にフィードバックされ、商品の改善や新商品の開発に役立てられています。

また、MB商品やトラック･バス用および建設車両用タイヤなどは、第一線で日々使われているお客様の要望を聞くことからはじまります。何度も現場へ足を運ぶことで、お客様の真のニーズを把握し、そこから一つひとつの商品が生み出されます。
世界各地にタイヤおよびMBのネットワークを構築し、国内外一体となった販売体制を確立する横浜ゴム。ワールドワイドなマーケティング戦略のもとに、「YOKOHAMAブランド」のさらなる価値向上をめざします。

海外販売会社･事業会社

1 Yokohama Tire（Canada）Inc.
Unit 218 20353 64th Avenue, Langley, BC,
Canada V2Y 1N5, CANADA

2 Yokohama Tire Corporation
1 MacArthur Place, Suite 900 Santa Ana, CA 92707, U.S.A.

3 Yokohama Aerospace America, Inc.
22223 68th Avenue South, Kent, WA 98032-1010, U.S.A.

4 Yokohama Rubber Latin America Indústria e Comércio Ltda.
Rua Cubatao, n86 – Conjunto 1510 – 15 Andar,
04013-000 Paraiso, São Paulo/SP, BRASIL

5 Yokohama Rubber（China）Co., Ltd.
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road,
Shanghai, 201103, CHINA

6 Yokohama Tire Sales（Shanghai）Co., Ltd.
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road,
Shanghai, 201103, CHINA

7 Yokohama Industrial Products Sales -Shanghai Co.,Ltd.
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road,
Shanghai, 201103, CHINA

8 Yokohama Tire Taiwan Co., Ltd.
Suite 601 6th Floor No.88, Sec 2,
Chung Hsiao E. Road, Taipei, TAIWAN R.O.C.

9 Yokohama Tire Korea Co., Ltd.
Hwangwha B/D 602,320 Gangnam-daero,
Gangnam-gu, Seoul, KOREA

10 Yokohama Asia Co., Ltd.
7th floor, Zone A, Thanapoom Tower,
1550 New Petchburi Road,
Makkasan, Ratthawi, Bangkok 10400, THAILAND

11 Yokohama Tire Sales Philippines, Inc.
3F Kentek Bldg, 828 A.Arnaiz Ave.,
San Lorenzo Village, 1223, Makati City, PHILIPPINES

12 Yokohama Tire Sales（Thailand）Co., Ltd.
12th Floor, Zone A, B, Thanapoom Tower,
1550 New Petchburi Road, Makkasan,
Ratthewi, Bangkok 10400, THAILAND

13 Yokohama Europe GmbH
13 Yokohama Europe GmbH Industrial Products Division
Monschauer Strasse 12, D-40549 Düsseldorf, GERMANY

14 Yokohama Scandinavia AB
Gustavslundsvägen 135, SE-167 51 BROMMA, SWEDEN

15 Yokohama Russia L.L.C.
Panfilova street 19 Building, 1, 3rd Floor, 141407 Khimki,
Khimki-Center, Moscow region, RUSSIA

16 Yokohama H.P.T.Ltd.
Dawson Road, Mount Farm, Bletchley,
Milton Keynes, Buckinghamshire, MK1
1QY, UNITED KINGDOM

17 Yokohama Suisse SA
La Maladaire 16, 1562 Corcelles-près-Payerne,
SWITZERLAND

18 Yokohama Iberia S.A.
Avda. Isla Graciosa, 1-2º planta puerta 6.
28703, San Sebastián de los Reyes, Madrid, SPAIN

19 YOKOHAMA France S.A.S.
2, rue Philippe Lebon, B.P.375,
F-69746 GENAS Cedex, FRANCE

20 Yokohama Tyre Australia Pty., Ltd.
123-129 Silverwater Road, Silverwater,
N.S.W. 2128, AUSTRALIA

21 Yokohama Tire Mexico S. de R.L. de C.V.
Boulevard Bernardo Quintana #300-1102 (Piso 11),
Col. Centro Sur, C.P. 76090, Querétaro, Qro, MEXICO

22 Yokohama Industrial Products Asia-pacific Pte. Ltd.
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER,
SINGAPORE 068914

23 Yokohama Corporation Of North America
1 MacArthur Place, Suite 900 Santa Ana, CA 92707, U.S.A.

24 ATC Tires Private Ltd.
Head office :
Unit No. 1001, 10th Floor Tower A, Embassy 247,
Lal Bahadur Shastri Marg, Vikhroli – West,
Mumbai 400083, INDIA

25 Alliance Tire Europe B.V.
Alpha Tower De Entree 59 1101 BH Amsterdam,
THE NETHERLANDS

26 Yokohama Off-Highway Tires America, Inc.
201 Edgewater Drive, Suite 285, Wakefield,
MA 01880, U.S.A.

27 Yokohama CEE Spółka z.o.o.
Al. Jerozolimskie 65/79 00-697 Warzawa, POLAND

28 Yokohama Tyre Sales Malaysia Sdn. Bhd.
No.15 Jalan Jurutera U1/23, Seksyen U1,
HICOM-Glenmarie Ind.Park, 40150 Shah Alam,
Selangor Darul Ehsan, MALAYSIA

29 Yokohama TWS Australia Pty Ltd
25 Darby Way Dandenong South, VIC 3175,
AUSTRALIA

30 Yokohama TWS Austria GmbH
Am Taich 1 Sankt Valentin Postal Code 4300, AUSTRIA

31 Yokohama TWS Belgium NV
Brugse Steenweg 7 9940 Evergem, BELGIUM

32 Yokohama TWS Brazil Ltda.
Av. Pref. João Vilallobo Quero 1960 Barueri
SP CEP 06422-122, BRASIL

33 Yokohama TWS Canada Inc.
1275 Pitfield Saint-Laurent QC H4S 1G3, CANADA

34 Interfit France SAS
Zone industrielle d'Aix-les-Mille 900 rue Ampère 13100
AIX-EN-PROVENCE, FRANCE

35 Yokohama TWS France SAS
Origin's Park Bâtiment E 176, rue Robert Schuman
60610 LACROIX SAINT OUEN, FRANCE

36 Yokohama TWS Germany GmbH
Helmholtzstr. 1 D-64711 Erbach, GERMANY

37 White Baumaschinenreifen GmbH
Konrad Adenauer Ring 22 D-47167 Duisburg-Neumühl,
GERMANY

38 PT Yokohama TWS Indonesia
Wisma Korindo 5th Floor Jl. M. T. Haryono Kav. 62
Jakarta 12780, INDONESIA

39 Yokohama TWS (Malaysia) Sdn. Bhd.
No 4 Jalan Ruang U8/109 Section U8 Bukit Jelutong
40150 Shah Alam, Selangor, MALAYSIA

40 Yokohama TWS Mexico S.A. de C.V.
Hermenegildo Galena #357 Oriente Colonia El Lechugal
Santa Catarina Nuevo Leon Postal Code 66376, MEXICO

41 TRS Tyre & Wheel Ltd
1 Imlay Place Castlecliff Whanganui 4501, NEW ZEALAND

42 Yokohama TWS Poland Sp. z o.o.
A. Struga 66 90-557 Łòdź, POLAND

43 OOO Mitas
115432, RUSSIA, Moscow, Proektiruemiy proezd 4062-th,
block 6, building 16, office 26

44 Yokohama TWS RUS OOO
115432, RUSSIA, Moscow, Proyektiruemy proyezd 4062,
house 6, building 16, room 25

45 Yokohama TWS Singapore Pte. Ltd.
4, Jalan Pesawat, SINGAPORE 619362

46 Yokohama TWS Slovakia a.s.
Černyševského 3427/26 Bratislava - mestská časť
Petržalka 851 01, SLOVAKIA

47 Yokohama TWS South Africa (Pty) Ltd
19 Nederveen Highway , Corner Philip Road Roodekop
Leondale Germiston, SOUTH AFRICA Postal code: 1401

48 Yokohama TWS Spain S.A.
Pau Clarís, 163 3º 08037 Barcelona, SPAIN

49 Yokohama TWS Sweden AB
Box 1088 231 81 TRELLEBORG, SWEDEN

50 Yokohama TWS Switzerland GmbH
Bertiswilstrasse 52 Rothenburg Postal Code 6023,
SWITZERLAND

51 Yokohama TWS Netherlands B.V.
Zadelmakerstraat 4 2984CC Ridderkerk,
THE NETHERLANDS

52 Interfit Ltd
Unit 5 Lighthouse Trade Park Church Road Lydney
Gloucestershire, ENGLAND GL15 5EN

53 Yokohama TWS UK Ltd
Unit 5 Lighthouse Trade Park Church Road Lydney
Gloucestershire, ENGLAND GL15 5EN

54 Yokohama TWS Holding AB
Trelleborg AB (publ) Johan Kocksgatan 10 231 22
TRELLEBORG, SWEDEN

タイヤ･工業製品用原材料の調達と販売

1 Yokohama Rubber Singapore Pte. Ltd.
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER,
SINGAPORE 068914

海外出張所･支店

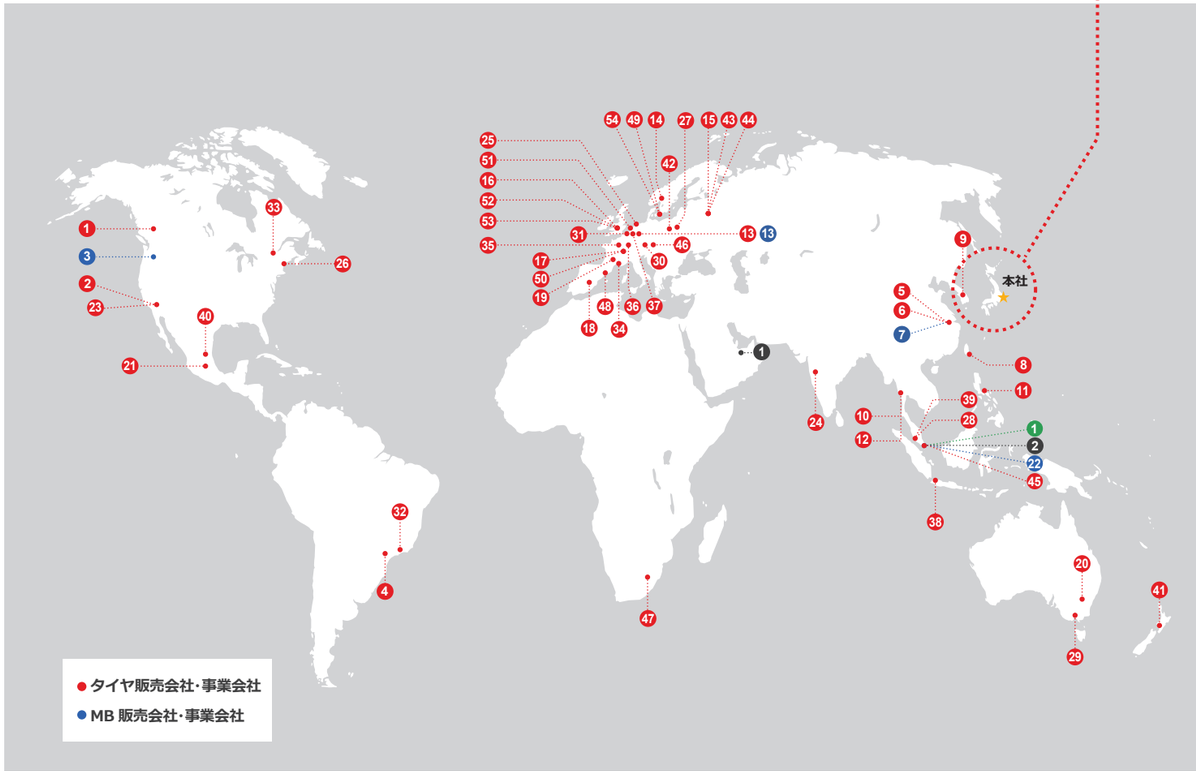
1 Dubai Office
P.O. Box 296846, (Location: DAFZA 3E G01),
Dubai, UNITED ARAB EMIRATES

2 Singapore Branch
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER,
SINGAPORE 068914

国内販売会社

株式会社ヨコハマタイヤジャパン
〒108-6213 東京都港区港南2丁目15番3号
品川インターシティC棟13階

株式会社プロギア本社
〒254-0047 神奈川県平塚市追分2番1号

横浜ゴムMB ジャパン株式会社
〒108-6213 東京都港区港南2丁目15番3号
品川インターシティC棟13階

ヨコハマゴム ･マリン& エアロスペース株式会社
〒254-0047 神奈川県平塚市追分2番1号